

編集後記

今号には、4件の研究紹介記事が掲載されています。量子物質グループ、LASOR、強磁場施設、杉野研究室からと、内容も多岐にわたっています。また、新たに中性子科学研究施設に着任された中島先生の記事に加えて、長年中性子科学研究施設の施設長として活躍された柴山先生の記事も掲載されています。延期されていた柴山先生の退職記念講演会も先日開催されました。今号の記事に、「ヒューマンネットワーク」を活かした研究人生、と書かれているように、多くの方との出会いとそれをきっかけとした共同研究の発展が印象的な講演でした。JRR-3の運転再開に向けたご尽力も相当なものであったことは想像に難くありません。柴山先生の退職記念講演会は、大講義室で講演して頂き、それを zoom で配信するというハイブリッド形式で開催されました。開催報告も今号に掲載されています。他にも短期研究会、ISSP ワークショップ、セミナーの開催報告が掲載されていますが、コロナ禍の影響によってこれらもすべてオンラインでの開催となっています。開催方法を見ると、zoom を用いての開催が最も多いようですが、Webex や Slack、Remo などを用いている例もあるようです。オンサイト開催とオンライン開催のメリット、デメリットなども考えさせられる昨今ですが、様々なシステムを利用してオンライン開催のデメリットを少しでも改善しようという試みも多くなされているようです。

岡崎 浩三

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp